

カンファレンスコール用資料

# 2009年度 第2四半期決算

(2009年4月1日～2009年9月30日)

開催日時 2009年10月30日(金)  
18:30～19:30

説明者  
取締役専務執行役員 松田 等



第一三共株式会社

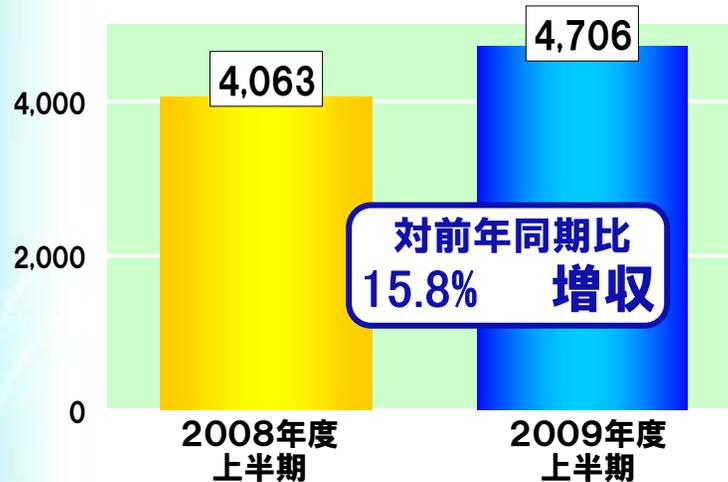
# MEMO



# 2009年度 上半期 実績の概要

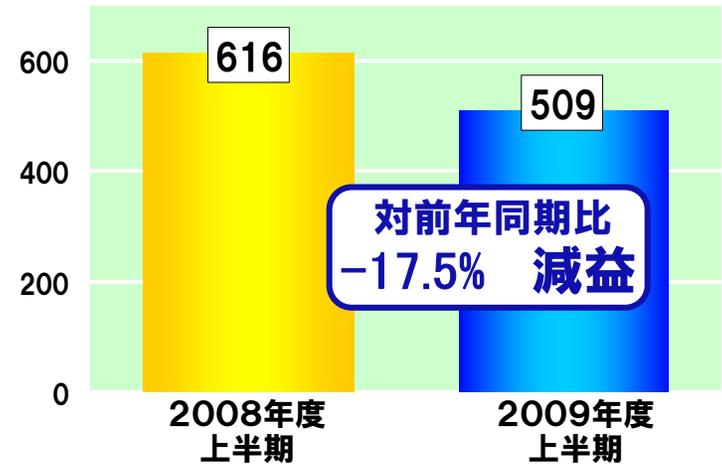
(億円)

## 売上高



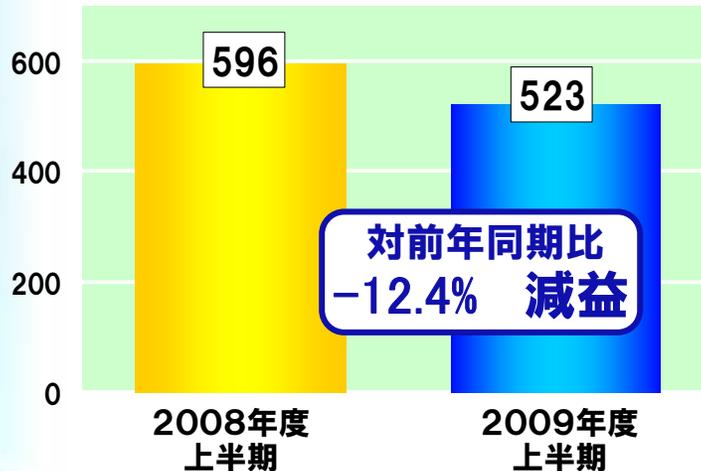
(億円)

## 営業利益



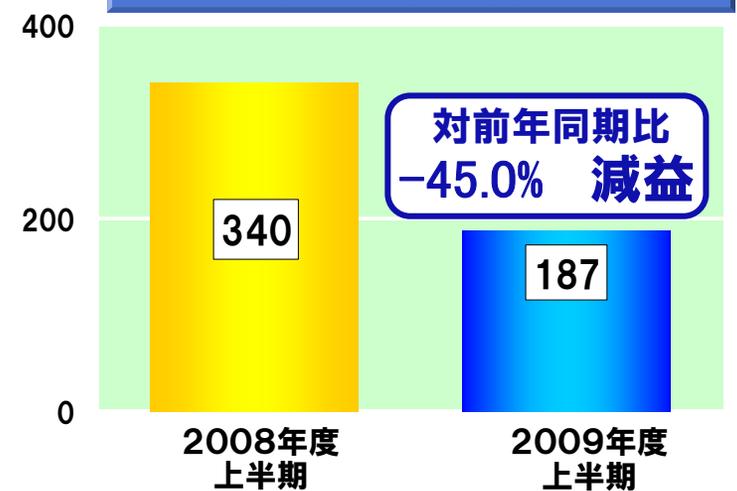
(億円)

## 経常利益



(億円)

## 当期純利益



# 2009年度 上半期 実績の概要 - 前年同期との比較 -

(単位：億円, 金額上段は対売上高構成比)

	2008年度 上半期 実績 ①	②	2009年度 上半期 実績				
			単純比較 ②-①	Ranbaxy社 1-6月 実績	Ranbaxy社 のれん償却 等	除：Ranbaxy 関連 ③	実質比較 ③-①
売上高	100.0% 4,063	100.0% 4,706	642	100.0% 661		100.0% 4,044	-19
売上原価	24.0% 976	29.2% 1,372	396	56.8% 375		24.7% 997	21
販管費	40.5% 1,647	40.0% 1,884	236	40.2% 266	30	39.3% 1,588	-60
研究開発費	20.3% 823	20.0% 941	118	6.7% 44		22.2% 897	74
販管費計	60.8% 2,471	60.0% 2,825	354	46.9% 310	30	61.4% 2,485	14
営業利益	15.2% 616	10.8% 509	-108	-3.6% -24	-30	13.9% 562	-54
経常利益	14.7% 596	11.1% 523	-74	-5.0% -33	-30	14.5% 586	-11
当期純利益	8.4% 340	4.0% 187	-153	-4.1% -27	-18	5.7% 232	-108

# 増減の内容 - 前年同期との比較 -

**1. 売上高 4,706億円 (+642億円, +15.8%)**

- 実質比較 (-19億円) 内円高影響は(約 -200億円)
  - オルメサルタン (+108億円)
  - ロキソニン (+48億円)
  - レボフロキサシン (-60億円)
  - エフィエント (+10億円)
  - エイゾール共同販促解約時一時金 '08計上 (-47億円)
- Ranbaxy (+661億円)
  - 地域別売上構成比 北米 (24%), インド (22%), 欧州 (18%), 他地域 (36%)

**2. 営業利益 509億円 (-108億円, -17.5%)**

- 実質比較 (-54億円)
  - 売上総利益減 (-40億円)
  - 販管費 (-60億円)
    - ・DSIを中心とする販促費減等
  - 研究開発費 (+74億円)
    - ・Edoxaban, Laninamivir (CS-8958) 等プロジェクト費用増
- Ranbaxy関連 (-54億円)
  - Ranbaxy社自体の営業損失 (-24億円)
  - のれん/無形固定資産に関わる償却費 (-30億円)

# 増減の内容 - 前年同期との比較 -

## 3. 経常利益 523億円 (-74億円, -12.4%)

- 営業外収益増 (+87億円)
  - Ranbaxy関連 (+99億円) ・デリバティブ評価益等
- 営業外費用の増加 (+53億円)
  - Ranbaxy関連 (+108億円) ・デリバティブ実現損等
  - Ranbaxy以外 (-55億円)
    - ・為替差損 (-39億円) ・擬似ストックオプション評価損 (-23億円)

## 4. 当期純利益 187億円 (-153億円, -45.0%)

- 特別利益の増加 (+15億円) ● 投資有価証券売却益 (+18億円)
- 特別損失の減少 (-29億円) ● 固定資産処分損 (-12億円) ● 前期減損損失計上
- 法人税等 (+141億円)
  - 過年度(2008年度)税金計算の修正 (+75億円)
  - DS単体の試験研究費税額控除不適用 等
- 少数株主利益 (-18億円)・・・Ranbaxy社に関わる少数株主持分(36%)

# 2009年度 上半期実績 並びに 業績予想 概要

(単位：億円、金額上段は対売上高構成比)

	2009年度 業績予想 (7月公表)		2009年度 最新業績予想				
	上半期 ①	年 度 ②	上半期 実績			年 度 予想	
			③	差異 ③-①	備考	④	差異 ④-②
売上高	100.0% 4,650	100.0% 9,600	100.0% 4,706	56	ヴェノファーを中心にLPIが想定以上に好調に推移し、全体を牽引	100.0% 9,600	0
売上原価	29.0% 1,350	29.0% 2,780	29.2% 1,372	22	製品構成変化等による原価率悪化	29.5% 2,830	50
販管費	42.2% 1,960	40.8% 3,920	40.0% 1,884	-76	販促費を中心とした一部経費の下半期へのずれ	40.3% 3,870	-50
研究開発費	20.0% 930	20.2% 1,940	20.0% 941	11		20.2% 1,940	0
販管費計	62.2% 2,890	61.0% 5,860	60.0% 2,825	-65		60.5% 5,810	-50
営業利益	8.8% 410	10.0% 960	10.8% 509	99		10.0% 960	0
経常利益	8.0% 370	7.2% 690	11.1% 523	153	営業外収支改善 (+54億円) ・為替差益 ・支払利息の減 等	7.2% 690	0
当期純利益	2.4% 110	4.2% 400	4.0% 187	77	特別損益改善 (+14億円) 法人税等 (+88億円) 少数株主利益 (+2億円)	4.2% 400	0

# MEMO



# 主要製品の状況 - 邦貨換算 -

(単位：億円)

		2009年度 最新業績予想					
		上半期 実績			年度 予想		
			対7月 公表	対前年同期 比較		対7月 公表	対前年同期 比較
GLOBAL	オルメサルタン <高血圧症治療剤>	1,154	32	108	2,400	45	289
	レボフロキサシン <合成抗菌剤>	433	6	-60	885	-35	-92
	プラバスタチン <高コレステロール血症治療剤>	297	7	-22	560	10	-48
	プラスグレル * 共同販促収入	10	-	-	-	-	-
日本	カルブロック <高血圧症治療剤>	70	0	10	150	0	29
	アーチスト <高血圧症治療剤>	119	-1	10	240	0	21
	クレメジン <慢性腎不全用剤>	69	-1	5	140	0	12
	ロキソニン <消炎鎮痛解熱剤>	237	-3	48	525	15	138
	オムニパーク <造影剤>	147	2	1	280	0	-3
	ユリーフ <排尿障害改善剤>	45	0	9	100	0	21
米国	ヴェノファー <貧血治療剤>	161	26	-7	310	35	-10
	ウェルコール <高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤>	134	-1	9	270	-15	25

# 主要製品の状況 - 現地通貨ベース -

		2009年度 最新業績予想					
		上半期 実績			年度 予想		
			対7月 公表	対前年同期 比較		対7月 公表	対前年同期 比較
第一三共 Inc.<米国> (百万ドル)	Benicar / Benicar HCT	464	16	35	927	22	58
	Azor	65	-4	29	140	-18	54
	Welchol	140	-2	22	291	-9	47
第一三共ヨーロッパ GmbH <欧州> (百万ユーロ)	Olmetec / Olmetec Plus	137	-5	22	312	7	50
	Sevikar	16	-3	16	42	4	27
ルイトポルド ファーマシューティカルズ Inc.<米国> (百万ドル)	Venofer	169	27	10	334	45	16

# 研究開発 パイプラインの状況



## ■ ステージの進捗

### ■ フェロン<sup>®</sup>（日）

C型慢性肝炎に対するリバビルンとの併用療法の効能追加（承認申請中→承認）

### ■ CS-8635（米）

オルメサルタン/アムロジピン/ヒドロクロロチアジドの配合剤（P3→承認申請中）

### ■ レボフロキサシン注（日）

ニューキノロン剤（P3→承認申請中）

# 主要開発品目一覧表

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	承認申請中
循環器	・DB-772d	・オルメテック/ 利尿剤合剤 (#)	・ <u>Edoxaban</u> ・ <u>ブラスグレム (ACS-MM)</u>	・オルメテック/ カルブロック合剤 (#)  → <u>CS-8635</u>
糖代謝	・CS-1036 (#)			
感染症			→ ・Laninamivir (CS-8958)	→ ・レボフロキサシン注 (#)
がん	・U3-1287	・Tigatuzumab ・ニモズマブ (#) ・ARQ 197 ・CS-7017		
免疫・アレルギー	・CS-0777	・SUN13834		
骨・関節			・ <u>Denosumab (#)</u>	・ロキソニンゲル (#)
その他		・ソナゾイド <sup>®</sup> 効能追加 (#) 〈前立腺病変の造影/ 乳腺病変の造影〉	・ヒトグレリン ・メマンチン (#)	→ ・フェロン/リハビリリン 併用療法 (#) ・シロドシン
合計	4	7	6	5

- ・グローバル(日本以外)で開発している課題に関しては、最も進んだステージのみ記載
- ・アンダーライン(青字)は現在の優先プロジェクト
- ・#: 日本でのみの開発

# 2009年度 第一三共主催 主要イベント予定

内容	日付
R&D説明会	2009年12月11日(金) 午前中予定
2009年度第3四半期決算	2010年1月29日 開示並びにカンファレンスコール
第2期 (2010-2012) 中期経営計画説明会	2010年3月

本資料に関するお問い合わせ先

**第一三共株式会社**  
**コーポレートコミュニケーション部**

**TEL: 03-6225-1126**

**FAX: 03-6225-1132**

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

つくっているのは、希望です。



**第一三共株式会社**